

# 社会科（地理的分野）学習指導案

## 1 単元名 中国・四国地方

## 2 単元設定の理由

### （1）生徒観

本学級は積極的に発表する生徒が多く、社会的事象に対して興味や関心をもち、学習課題に意欲的に取り組んでいる。一問一答のような、知識・理解を問う問題に関しては高い正答率を示している。しかし、資料から読み取るなどした個別の事象を原因と結果等の因果関係で関連付けて説明することに苦手意識をもっている。そこで、地域的課題や対立する政策や制度を感覚で判断するのではなく、単元の学習内容を通して獲得した知識を根拠として、より良い価値判断を行う学習活動を展開していくことで社会的判断力を育成したいと考えた。

### （2）教材観

本単元は、学習指導要領（平成 29 年告示）地理的分野の「2 内容 C 日本の様々な地域（3）日本の諸地域」の内容に位置付けられる。海に囲まれた四国地方は、長い間フェリーによる往来が行われていたが、本州四国連絡橋や高速道路の整備により、人々の暮らしが大きく変化した。特に神戸・鳴門ルートの開通は、京阪神大都市圏と四国が直接結ばれ、徳島県の産業や物流に大きな影響をもたらした。一方で、過疎化による地域格差や、ストロー現象による地域経済の衰退を課題に抱える自治体も増加している。交通網の整備による変化を地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて考察し表現することで、中国・四国地方の地域的特色を捉えさせたい。

### （3）指導観

単元の学習内容において習得した記述的知識や説明的知識を活用し、諸資料から読み取れることをもとにして、根拠をあげて価値判断を行う学習活動を単元の最後に設定する。そこで、「四国新幹線」の整備が、徳島県の観光業の発展にとって必要かどうかについて判断する社会的判断力育成型の授業を行う。諸資料や他者の意見をもとに自分の考えを吟味し、論理的な価値づけや判断を重ねることを通して、中国・四国地方の地域的特色についての理解を深めさせたい。

## 3 単元の目標

- 中国・四国地方が、交通・通信の発達による他地域との結びつきの変化により、それに関連する産業や生活に変化や課題が生まれている地域であることを理解できる。

【知識及び技能】

- 中国・四国地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核に社会的事象を関連付け、産業や生活における変化や課題を多面的・多角的に考察し、適切に判断・表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- 中国・四国地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核に捉え、自らが住んでいる地方の特色や課題について、意欲的に追究しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中国・四国地方が、交通・通信の発達による他地域との結びつきの変化により、それに関連する産業や生活に変化や課題が生まれている地域であることを理解している。	中国・四国地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核に社会的事象を関連付け、産業や生活における変化や課題を多面的・多角的に考察し、適切に判断・表現している。	中国・四国地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核に捉え、自らが住んでいる地方の特色や課題について、意欲的に追究している。

#### 5 指導と評価の計画（全8時間）

○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」

次	ねらい・学習活動等	評価の観点			評価規準（評価方法）
		知	思	態	
第一次	【ねらい】中国・四国地方の地形や気候の特色を捉える。				
1時間	◇中国・四国地方はなぜ三つの地域に分けられるのか、地形や気候の特色から、その違いを考える。	●		●	●中国・四国地方にどのような特色があるか関心をもち、交通網の整備により、中国・四国地方はどのように変化したのか、予想することができている。 （振り返りシート） ●三つの地域の特徴の違いを、地形や気候の特色にふれながら適切に表現している。（ワークシート・観察）
第二次	【ねらい】交通網の整備による中国・四国地方や徳島県の人々の生活における変化を、資料から読み取る。				
1時間	◇本州四国連絡橋や高速道路の開通により、中国・四国地方や徳島県の人々の生活にどのような変化が生まれたか、諸資料を読み取ってまとめる。	●	●		●交通網の発達による、他地域との結びつきの変化が、人々の生活にどのような変化を生じさせたかについて、諸資料から読み取りまとめている。 （ワークシート・観察）
第三次	【ねらい】交通網の整備による中国・四国地方の工業の変化を資料から捉え、瀬戸内工業地域の特色を理解する。				
1時間	◇交通網の整備により、瀬戸内工業地域が、他地域と結びつくことでどのように変化しているかについて、諸資料の読み取りをもとにして、特色を理解する。	●			●交通網の整備による瀬戸内工業地域の変化や特色を捉え、理解している。 （ワークシート・観察）

第四次	【ねらい】交通網の整備による中国・四国地方の農業の変化を資料から捉え、農産物の競争力の向上や市場拡大について理解する。			
1時間	◇交通網の整備による瀬戸内や南四国の農産物の出荷量の変化や市場の拡大について、諸資料を読み取り、理解する。	●		●交通網の整備により、中国・四国地方の農業がどのように発展したのかを理解している。(ワークシート・観察)
第五次	【ねらい】交通網の整備による中国・四国地方と徳島県の観光業の変化を資料から捉え、地域おこしの取り組みと関連付けて理解する。			
1時間	◇中国・四国地方の交通網の整備と観光業の発展や地域おこしとの関わりを、諸資料を読み取り理解する。	●		●交通網の整備と観光業との関わりを諸資料から読み取り、地域おこしに取り組む山陰地方の取組について理解している。 (ワークシート・観察)
第六次	【ねらい】交通網の整備による中国・四国地方の人々の生活の変化や産業の変化を捉え、メリットやデメリットを整理する。			
1時間	◇交通網の整備による変化を諸資料から読み取り、中国・四国地方や徳島県の産業や人々の生活におけるメリットやデメリットを様々な立場の人々に分けて、思考ツールにまとめる。	●		●農業・工業や観光業、商業関係者や地域住民等の立場ごとに、中国・四国地方や徳島県におけるメリット・デメリットを思考ツール（PMIシート等）にまとめている。 (ワークシート・観察)
第七次	【ねらい】「四国新幹線」の整備は徳島県の観光業の発展にとって必要か、資料をもとに根拠を明らかにして説明する。			
2時間 本時2 ／ 2	◇「四国新幹線」の整備は徳島県の観光業の発展にとって必要か、他地域との結びつきという視点から、意見交換や資料をふまえて、自分なりの根拠を明らかにして説明する。		○	○資料を適切に選択・活用し、自分の主張を吟味し、根拠を明確にして説明している。 (ワークシート・観察)
	◇「四国新幹線」の整備の是非について、他者の意見や資料を参考にしながら、根拠を明確にして説明する。		○	○他者の意見や資料を参考にしながら、根拠を明確にして自分の主張を説明している。

## 6 本時

### (1) 目標

中国・四国地方と他地域との結びつきという視点から、「四国新幹線」の整備の是非について、他者の意見や資料を参考にしながら、根拠を明確にして説明することができる。

### (2) 展開

時間 (分)	学 習 活 動	指導の手立てと評価
5	1 前時までの振り返りをする。	○他地域との結びつきにより生まれた中国・四国地方のメリットとデメリットなどを PMI シートで示し、前時までの学習内容を想起させる。  (MetaMoJi Classroom)
5	2 学習課題を把握する。	
「四国新幹線」の整備は徳島県の観光業の発展のために必要？不必要？		
10	3 学習課題について、個人の判断を発表する。	○前時に記述した個人の判断を振り返り、思考を整理させる。  ○個人の判断について、事前に立場を視覚化する。 ○トゥールミンモデルの結論と根拠を発表させる。(MetaMoJi Classroom)
10	4 学習課題について、掲示された新たな資料をふまえ、各班内で意見交換を行う。	○新たな資料を提示し、他地域における新幹線整備による変化に着目させたり、本州四国連絡橋の整備による課題と関連付けたりすることで、自らの考えを再構築する。(MetaMoJi Classroom)
15	5 意見交換や資料をふまえて、自分なりの根拠を明らかにして最終判断を行う。	【評価】 資料を適切に選択・活用し、他者の意見や資料を参考にしながら、自分の主張を吟味し、根拠を明確にして説明することができるか。【思】(MetaMoJi Classroom)
5	6 学級全体で意見を共有する。	○意図的指名を行い、最終判断にいたった理由を発表させる。(タブレット)

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況の例	・「四国新幹線」の整備の是非について、諸資料を適切に読み取り、複数の地理的事象を関連付けて、自分なりの根拠を明らかにして説明することができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	・徳島県の発展のために「四国新幹線」の整備が必要であるかについて、位置や分布・場所、空間的相互依存作用などの社会的な見方・考え方をを用いて、個人の立場で価値判断ができるようにする。